

遠藤 芳郎

学校名：平塚市立豊田小学校 担当教科：5年生担任

1. 今回のカンボジア研修における目的やねらい

海外研修に参加する前、事前研修の中で実践授業の計画を発表したとき、私の計画はカンボジアの負の部分に焦点を当てすぎた計画になっていました。しかし、事前研修を通して他の参加者の方の意見を伺ったり、講師の方の講義を受けて行く中で、小学校段階での国際理解教育はプラスのイメージから入ることが大切だということに考えを改めました。そこで今回の海外研修では、カンボジアにおける教育の様子・生活の様子など国の現状を知ること、日本の現状との違いや類似点に気がつき、そこからカンボジアのよさを多く学びそれを教材化して、日本の子どもたちに伝えることを一番の目的にしました。

2. 目的やねらいの達成度

カンボジアと日本の違いとして政府の存在感があげられると思います。いろいろなことを支援に任せているカンボジアの現状は国民に貧富の差を生む原因になっていると思いました。次に、カンボジアのよさを探していった結果、壮大な自然や遺跡、人としての誇りやいきいきを持った生活など日本と共通する点を多く見つけました。今後、その学んだことを整理・加工していった教材化して日本の子どもたちに様々な形で伝えていきたいと考えています。

3. カンボジアから学んだこと

まず、私がカンボジアから学んだことは、政治の基盤が安定していないと法律も定まらず、教育も高い水準で行われず、経済格差が拡大し貧困が生まれるということでした。しかし、そんな状況でも、いろいろな支援団体が協調姿勢をはかりながら地道な活動を行い、国の安定を目指して日々努力をしているということでした。そして、そんな活動から多くのいきいきと仕事をするカンボジア人や希望に目を輝かせ学習をするカンボジアの子どもたちが生まれていることも知りました。

自分の仕事に誇りを持つことや希望を持って楽しくいきいきと生活することは、カンボジアだけでなく日本においてもとても大切な生き方であることに気づかされました。私自身も一教師として、もう一度教育の重要性を考え直し、豊かな未来を創造しうる人を育てていきたいと思いました。

4. 研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか

今回、自分が学んだカンボジアのよさ。また、そこから見えてくる日本のよさを、今担任している子どもたちだけでなく、これから出会う子どもたちを含めて多くの人たちにいろいろな形で伝えていきたいと考えています。

5. 研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案

今回の研修に参加してよかったことはたくさんありますが、まず一番はこのJICAのプログラムの内容の素晴らしさだと思います。事前研修もたいへん勉強になり、カンボジアに訪問してから見学するときの予備知識としてたいへん役立ちました。訪問してからの内容も実に濃いものでした。いろいろな施設を幅広く見学するだけでなく、時には交流などを通して深く関わることができました。我々参加者の要求にも適宜対応してくださり、非常に充実した研修になりました。

また、同じ参加者の方々から学ぶことも非常に多く、今回の研修の大きな成果となりました。校種・環境の違う方々と共に生活しふれ合う中で、自分にはない感覚や知識を多く学ぶことができました。自分だけでは、学ぶことができない多くのことを共に研修をしたことで学ばせてもらいました。

よりよくするための提案として強いてあげると、いろいろな NGO 団体の活動をみせてもらいましたが、日本だけでなく他の国々の活動ももっと見学できるとさらに幅広い視野で支援について学べるのではないかと考えました。

6. その他研修全般を通じての感想・意見など

研修中、一日のどこかで、休憩やふりかえりの時間を持つことはとても大切だと思いました。また、記録用のノートを全体で一冊準備して記録をしておくことさらによかったかなと報告書を書きながら思いました。

上述しましたが、JICA 関係者のみなさんをはじめいっしょに研修に参加したみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

7. 今後の本研修参加者へのアドバイス等

細かいことを言えば、乾きやすい服を持っていくと洗濯する際便利です。訪問国の簡単なあいさつを覚えておいたり、名刺などを準備することもいろいろな人とのコミュニケーションをとる上で有効でした。何より大切なことは、しっかりとめあてを持って研修に臨み、自分から他人と積極的に関わり、体調管理をしっかりとすることだと思います。

